

関係者別の成果のハイライト

感染症のリアルタイムドナースクリーニングを通じた、医療資源利用、無駄の削減、および迅速な移植の促進

 患者	完全性の保護	臓器提供を承認された患者の 8.9% は、臓器の摘出開始前に最終的に不適格と判断されました。このため、ドナーを保護し、適格な患者に対してのみに移植手続きが開始されるようになりました。
	健康状態の向上	新しい検査システムの導入後、適格な提供者が 2.5% (5.7% から 8.2% に) 増加しました。 これまでのところ、この新しい検査システムによって、以前は時間的制約のために適格とならなかった 7 つの臓器が追加で提供されることになり、7 人の移植希望者の生命を救い、生活を向上させることができました。
	経験の向上	「ウィルは生後 13 ヶ月のときに脳死と宣告されました。彼の遺志を継ぐ機会を与えられたとき、夫と私は、ウィルは他の人と命を共有したいと望むだろうと確信していました。すぐにウィルが臓器提供に適格であることを知りました。ウィルの最後の贈り物は、臓器提供を通じて他の 3 人に命を与えることであり、臓器の提供と研究を通じてその他無数の人々の生活を向上させたことを知り、その後の困難な日々立ち向かうための強い力と勇気を与えてくれました」 - Lori Pace、臓器提供者の母親および病院のサービスコーディネータ
 臨床医	満足度の向上	臓器摘出時の検査のワークフロー所要時間を 94.7% 改善 (18 時間 22 分から 58 分) したことにより、医師の時間を最大限に増やししながら、消耗品や業務を最小限に抑えます。
	安全性の向上	臓器摘出前に感染症の状況を知ることが可能になるため、臨床医が既知の感染症に曝露することが 89.9% 減少しました。
 医療制度 / 病院経営	医療資源利用の強化	摘出した臓器が後に廃棄されるドナーの数が減少したため、施設の医療資源利用率が改善しました。導入後 1 年半の期間に、手術室の使用時間と、結果的に使用できないと判断された臓器の摘出にかかっていた所要時間が 742.5 時間削減されました。
 医療費	医療費の削減	対象外の組織回復を排除することで、間接費用 105,187 米ドルが 18 ヶ月間で削減されました。削減されたコストは、供給品、備品、人員、設備、梱包材および輸送費用およびバイオハザード廃棄物の処分に関連する削減から算出されました。